



つくば市立栄小学校

さかえ小 ニュースレター

No.25

R7.7.8

One for all, all for one. ～一人はみんなのために みんなは一人のために～

〔児童数〕 294 名

学校教育目標:認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成 もしもに備えて ～着衣泳～

8日(火)、4年生が着衣泳学習を実施しました。夏休みに入ると、毎年、水難事故のニュースが流れます。自分自身が水難事故にあった場合にするかという問いに対して、「力を抜く」、「落ち着く」、「ペットボトルなど浮くものを探す」といった意見が子供たちから出されました。実際に体験してみると、あごの上下やおなかの位置などわずかな体の使い方やペットボトルの有無で、浮き具合に違いがあることに気づきました。

危険はいつどこで起こるかわかりません。だからこそ、自分自身の身を守る、危険回避の知識や方法を身に付け、対応力を高めながら、かけがえのない大切な命を守りたいです。



税の仕組みを学ぶ ～6年租税教室～

8日(火)、6年生を対象に、租税教室を実施しました。“税金がなかったら?”という問いに対して、家庭ごみは回収されない。道路は穴が開いても補修されない。警察や救急、消防にかかる費用はすべて実費…。日常生活が税によって支えられていること、そして国民として税の在り方に関心を持つ必要があることを学びました。6年生が有権者となる18歳まであと6年、これからの生活を考える貴重な機会となりました。



紙けん玉づくりに夢中! ～2年図工～

7日(月)、2年生が図工で紙けん玉作りに挑戦しています。厚紙を自分の好きな形に切り、色付け、穴を開ける位置や大きさ、紐をつける位置などを工夫しながら、夢中になって制作していました。形やそれぞれの位置や大きさによって、遊ぶ時の難易度が変わります。さあ、どんな作品が仕上がるか、楽しみです。



共に支える ～個人面談スタート～

8日(火)、個人面談がスタートしました。今年度がスタートして3か月、子供たちは様々な経験を通して、心身ともに成長しています。一方で、友人関係や学習状況をはじめとして、少なからず悩みを抱えているのも事実です。担任やご家庭のそれぞれの立場で気づいたことなどを共有し、お子様の自立に向けた協力体制を築きたいと考えています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。